

大和郡山 防災ニュース 5.2月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

要支援者の皆様へ！ マイ個別避難計画をつくろう！

近年の気象状況の変動の中、毎年のように日本各地で災害による大きな被害が発生しています。テレビ報道で被災地の悲惨な状況が映し出されるにつけ、いざ災害時に、私は一人で避難することができるだろうか？と不安な方もたくさんおられることと存じます。



市では、災害時の避難行動に支援が必要な方(要支援者)の基準に当てはまる市内約16000名に対して、昨年11月にお手紙を差し上げました。

その内容は、まず御自身がどのランクの要支援者に当てはまるのか御自身で判断していただきます。下図の三角形をご覧ください。

三角形の一番上、「浸水想定区域等に居住する単独で避難することが困難な要支援者」については、ケアマネジャー・相談支援専門員など福祉専門職の協力を得ながら、個別避難計画を作成します。

三角形の底辺の「他の助けなく単独で避難ができる方」は地域の避難計画に従い避難します。

三角形の真ん中「歩けるが災害時の避難には少し不安を感じる要支援者」についてですが、おそらく、ここに当てはまる方が、一番多いのではないかと思います。しかし、高齢化・少子化が進む中、ここに当てはまる全ての方を自治会など地域で避難支援することは難しくなっており、このため近隣にお住まいの要支援者同士で事前に話し合っただき、いざ災害に助け合う「マイ個別避難計画」をつくっていただきたいのです。

この「マイ個別避難計画」作成のポイントは一緒に逃げる人「避難同行者」を話し合って決めることです。「避難同行者」が決まれば、次に災害の時、どのように連絡を取り合うか（電話で

要支援者の基準(市内に約16000名)

- ①70歳以上の高齢者のみの世帯
- ②要介護度3以上の方
- ③身体障害者手帳1、2級
- ④知的障害者療養手帳Aの方
- ⑤精神障がい者保健福祉手帳1級の方
- ⑥難病患者の方等

○浸水想定区域などに居住する
単独で避難が困難な要支援者
⇒ ケアマネージャー・相談支援専門員
などの福祉専門職の支援を得て
避難計画を作成

○歩けるが災害時の避難には
少し不安を感じる要支援者
⇒ 近隣の要支援者同士で
「マイ個別避難計画」をつくってもらう

○他の助けなく単独で避難できる方
⇒ 地域の避難計画に従う

連絡を取るなど)を決め、更に、どこに集合して、どの避難所に逃げるのかを決めていきます。

なお「避難同行者」を例えば、同居ご家族や近隣のご親戚にしてもよいか?というご質問を受けますが、もちろんそれでも結構です。

またご近所のお若い方が「一緒に避難してあげるよ。」と言って下さるなら、その方のお名前でも差し支えありません。下の表は「マイ個別避難計画」の最も重要な部分の書き方の一例です。書き方がわからない方は、市役所市民安全課までお気軽にご来庁もしくはお電話下さいね。



マイ避難計画	
避難するタイミングは? (☑を入れる) <input checked="" type="checkbox"/> 地震が起き、家屋が危険もしくは不安 <input checked="" type="checkbox"/> 市から「高齢者等避難」(レベル3)発令 <input checked="" type="checkbox"/> 市から「避難指示」(レベル4)発令 <input type="checkbox"/> 台風が接近してきたときは早めに避難 <input type="checkbox"/> その他 ()	自治会の (浦班長) さんへ避難報告
避難同行者への連絡手段 電話 ()	
避難同行者 (山下さん) → 避難同行者 (吉永さん) → 避難同行者 (田所さん) → 避難同行者 ()	
地震の場合は一次避難場所で安否確認を受けること	集合場所 (1班避難場所駐車場へ)
避難方法・地震等の場合 自治会の集団的避難で2次避難所(自治会館)から若葉小学校へ	避難方法・水害等の場合 避難同行者集合後、市指定避難所若葉小学校へ直行で避難
避難所候補1 若葉小学校	避難所候補2 若葉公民館

「防災情報電話配信サービス」を活用して下さい!

いざ水害や土砂災害の危険性が高まったとき、市からは「エリアメール」やインターネットの「ホームページ」などで避難情報をお知らせしていますが、高齢者等で携帯電話・スマートホンを取り扱えない方やインターネット環境のない方、また視覚障害者の方にもお奨めなのが、「防災情報電話配信サービス」です。

このサービスは、市から「避難指示」や「高齢者等避難」が発令されたとき、その内容をお電話でお伝えします。このサービス利用には市への申請が必要です。詳しくは市民安全課までお尋ね下さい。



このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース 検索

発行人 市役所市民安全課

